

平成23年度 学校評価書

学校名： 静岡市立高等学校

I 経営の重点に関わること

1 学校教育目標：「質実剛健」の気風を継承し、調和のとれた、社会に貢献できる創造的な人間の育成		自己評価	学校関係者評価委員会から		
2 重点目標  文武両道(学習活動と部活動)を目指す教育活動の確立	(1)学力の保障	①シラバス活用を検討するとともに、新教育課程への対応の準備を始める。【教務課】	A	A シラバスが教育目標等を具現化するものになっているか検討が必要である。実情に即した内容であり、生徒に達成感を感じさせる工夫も必要である。	
		【学校説明】 新入生指導や年度当初の授業の中で、シラバスを使って年間の授業計画や学習方法を指導した。H24年度から数学と理科が新教育課程になるので、シラバス作成を通してその対応の準備を継続的に行っている。	B		B 生徒が主体的に授業に臨むようになることが必要である。また、生徒が自ら取り組みたくなる課題提供が必要である。学年ごとに定着度を表す数値があると良い。
		②家庭学習時間の確保と家庭学習習慣の定着を図り、主体的な学習への取り組みを促す。【教務課】			
	(2)品位ある生活習慣の確立	①生徒の規範意識を高め、市高生としての自覚を向上させる。【生徒課】	A	A 教員の意識が高まっているように感じる。外部で会うと挨拶してくれる生徒が多い。さらに規律を維持し、集団生活を円滑に行えるように指導を願う。	
		【学校説明】 服装指導を登校時に職員全員で行うことを4月から始めた。以前のような極端に短いスカート等は無くなり改善が見られている。今後も一層の指導を徹底していきたい。	B		B 生徒の目線と合わせて教員もアドバイスし、指導することが望まれる。文化祭では、震災等に関連する取り組みもほしかった。他人が喜ぶ活動にも積極的に参加してほしい。
		②生徒会活動を活性化し、充実した学校生活を送る。【生徒課】			
【学校説明】 市高祭、委員会活動等、より生徒一人一人が自分のことと受け止め、積極的に参加していくムードを盛り上げていきたい。					

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員会から		
1 教育課程 学習指導	(1)確かな学力の育成 【市共通項目1】	① 授業を重視するとともに、家庭学習習慣の定着を図る。【各学年】	A	A 予習をしないと授業がわからないなど、家庭学習の習慣づけをさらに図ることが望まれ、少しずつでも家庭学習の時間が延びていけば成功だと感じる。授業全体が受験のための授業に偏っているように感じる。生徒が自ら学ぶ授業があるとよい。		
		【学校説明】〔1年部〕 ・定期テスト、実力養成テスト前の目標設定及び学習の記録記入、面接指導 ・定期テスト、実力養成テスト後のテスト個表の配布及び活用、面接指導	A		A しっかりと計画が実施されていると感じ、進学校として確立されてきているように思う。さらに生徒の学習状況を把握し、家庭学習ノートを3年間継続される等、継続指導の観点もあるとよいと思う。また、課外授業も更に充実させてほしい。	
		【学校説明】〔2年部〕家庭学習時間の確保 ・家庭学習時間調査の実施。(春、秋2回) ・英週テスト、数朝プリント、物理小テスト(年39回)、生物週末課題(模試過去問)実施				
		【学校説明】〔3年部〕 ・遅刻指導・欠席指導 ・家庭学習時間調査の実施(5月)と二者面談				
		② 生徒発達段階に対応した、各学年でのより密度の濃い学習を確立させる。【各学年】	A		A ICT機材を活用した指導教材を開発する。【研修課】	
		【学校説明】〔1年部〕学習内容の理解、学習習慣の確立 ・英語週テスト及び数学朝プリントの実施、早朝課外(英数国)及び土曜講座の実施 ・総合学習：進路講演会、小論文指導等 ・面接指導、進路相談の実施				
		【学校説明】〔2年部〕高校生から受験生への意識の変換 ・BF：学部学科説明会、小論文指導、模試振り返り、第一志望届の実施 ・模試直前の過去問の実施 ・面談：進路相談、情報提供				
		【学校説明】〔3年部〕受験生への意識の切り替え ・総合学習：進路講演会、小論文指導、志望届作成、模試の活用指導と分析説明会 ・課外：早朝課外(英数国)、放課後課外(5教科)、アドバンス講座(英数国)実施 ・面接：三者面談(夏・冬)・進路相談				
		(2)道徳教育の充実 【市共通項目2】	①自他を尊重するとともに、交通ルールの遵守や時間を守る等のモラル指導を充実する。【生徒課】		B	B 遅刻・交通指導は、関係性が強いと思うので、粘り強く指導を続け、両方とも0を目指してほしい。人としてあるべき姿・高校生として身に付けてくるマナーの指導を充実させる。
			【学校説明】 前半は遅刻も比較的少なく推移したが、寒気からの遅刻が増えている。このことは交通事故の増加にも関係しており、早めの登校を家庭と協力し徹底したい。		A	
③ I C T機材を活用した指導教材を開発する。【研修課】						
(3)特別活動の充実 【市共通項目3】	①委員会活動や文化祭等への積極的な参加と新たな取り組みによる内容の充実を図る。【生徒課】	A	B 校外で会った生徒から挨拶等があり良い。機会を逃さず、言葉遣い等の基本的な態度を教えることが大切であり、その中で市高生としての誇りが持てるとうい。			
	【学校説明】 文化祭では「お客様を迎える心」を合言葉に生徒会が頑張った。昨年以上のムードで、ほとんどの生徒がきちっとした態度で教員・来訪者の期待にこたえてくれた。	A		A 高校生も社会の一員として「人の役に立つ」ことを自覚してほしい。そのために、さらに積極的にボランティア活動等に参加するようにしたい。		
	②ボランティア活動や地域活動へ積極的に参加する生徒を育成する。【生徒課】					
2 生徒指導	(1)一人一人を大切に した指導 【市共通項目4】	①服装、言葉遣い、あいさつに品位を求める指導を推進する。【生徒課】	B	A 高校生も社会の一員として「人の役に立つ」ことを自覚してほしい。そのために、さらに積極的にボランティア活動等に参加するようにしたい。		
		【学校説明】 声かけ等の指導では、個々の状況に合わせた指導を各教員が行った。またいじめ等の訴えもなかった。	A			
②ボランティア活動や地域活動へ積極的に参加する生徒を育成する。【生徒課】	A					
【学校説明】 生徒会では今年も特別支援学校との交流で相互の文化祭を訪問した。本校を訪問した特別支援生徒の移動では、係り以外の生徒も積極的に参加してくれた。						

3 進路指導	(1)進路指導の充実	①キャリア教育の視点に立つ進路支援を実施する。【進路課】	A	職業や進路の多様な情報を生徒に提供する。また、卒業して数年後の状況を把握し、在校生の指導に役立てたい。学年との情報交換を密にすると良い。
		【学校説明】総合的学習の時間(BF)では、これまでを振り返り、自分自身を見つめなおし、将来になりたい自分の姿をイメージするワークから始まり、大学・学部研究や職業調べ、3ポイント制、第一志望届、進路希望調査などの様々な取り組みを展開し、生徒が各自進路を開拓していけるよう支援の枠組みを整備しつつある。	B	
		②進路に関する情報や適切な資料を提供する。【進路課】		
4 安全管理・指導	(1)学校安全システムの構築【市共通項目5】	①昨年度作成した新規の「防火・防災計画」に基づき、職員の防災の意識の高揚と充実を図る。【総務課】	A	情報や資料の提供と同時に活用する指導も徹底したい。
		【学校説明】「非常災害等対応マニュアル」を作成し、自衛消防組織任務の確認及び実地訓練をおこなった。	A	
		②防災や地区別集会等を開催し、生徒の防災意識の高揚を図る。【総務課】		
5 保健管理・指導	(1)健康教育の充実【市共通項目6】	①定期健康診断・学校行事前の健康調査を通して、生徒の自己健康管理意識を高める。【保健環境課】	A	日々安全管理する意識を教師全体で持ってほしい。また、PTAとの協力も大切である。
		【学校説明】健康診断後の治療勧告をして、健康の確保に努めさせた。また、生徒保健委員会発行の保健便りや保健の授業を通して、毎日の生活で心がける事項を確認し、自分で健康を維持する意識を持たせた。	A	
		②防災や地区別集会等を開催し、生徒の防災意識の高揚を図る。【総務課】		
6 特別支援教育	(1)学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進【市共通項目7】	①心のケアの必要な生徒の指導を充実する。【保健環境課】	A	高校生は社会では戦力となることを意識して、防災訓練に望んでほしい。また、自分の命は自分で守ることが基本であり、また学校という組織でどう活動すべきかも大切である。
		【学校説明】週2日のカウンセラーの利用生徒が多かったが、特定の生徒の利用が目立った。カウンセラーが空いている時は、教員も気になる生徒の相談に行き、指導の助けとした。	A	
		②防災や地区別集会等を開催し、生徒の防災意識の高揚を図る。【総務課】		
7 組織運営	(1)組織・運営の改善【市共通項目8】	①各分掌や委員会等を組織化し、業務の効率化を図る。【管理職】	B	自分の健康は自分で管理するという意識を生徒に持たせる。保健日より等をさらに充実させてほしい。
		【学校説明】新たに行事検討委員会を設置し、修学旅行、勉強合宿等の全校的な行事について検討し、今後への道筋をつけた。また、校内組織図を見直し、委員会と個人担当業務等との位置づけの違いを明確化した。	B	
		②心身のケアの必要な生徒の指導を充実する。【保健環境課】		
8 研修	(1)研修体制の充実【市共通項目9】	①研修テーマを設定し、公開授業・職員研修・授業評価を取り入れ、研修テーマの達成を目指す。【研修課】	A	精神的に弱い生徒への細やかな指導が必要である。学校カウンセラーの指導手法を教員が研修したり、情報交換を大切にすることがある。
		【学校説明】公開授業・職員研修・授業評価を計画通り行い、さらに授業研修週間も設定し、教員間で授業の質や内容の向上に努める雰囲気が高まった。	A	
		①各分掌や委員会等を組織化し、業務の効率化を図る。【管理職】		
9 保護者・地域住民等との連携	(1)信頼される学校づくりの推進【市共通項目10】	①ホームページをリニューアルし、分かりやすい情報提供に努める。【広報課】	B	教員が役割を理解し、役目を果たすことが組織である。業務の効率化や学校行事の見直し・検討は毎年必要である。
		【学校説明】学校からの情報を早く正確に提供することができた。具体的には、生徒の家庭への配布プリントの公開や学校行事・イベント等の公開をインターネットを使って迅速に行った。一方、学校ホームページのデザイン変更については未完成。	B	
		②緊急連絡メールシステムを確立し、素早い情報提供を行う。【広報課】		
10 施設設備	(1)リサイクルや省エネの推進	①校舎内外の清掃と美化及び資源を節約する。【保健環境課】	B	必要な情報が適切に提供されていた。中学生や保護者にもさらにわかりやすく提供したい。情報社会では、HPが学校の顔にもなり得る。
		【学校説明】ゴミの分別リサイクルはできるようになってきているが、毎日の清掃等で美化意識をさらに高める必要がある。	B	
		②使用していない教室の消灯、エアコンの適切な温度設定等により、節電に努める。【事務室】		
11 科学探究科	(1)科学探究科指導の工夫・研究	①学校設定科目の指導の工夫【科学探究科】	A	緊急時や教員への早期の連絡や危機管理等に大いに役立つ。何を送信するか、十分な検討も必要である。
		【学校説明】「探究プログラムⅠ」1つのテーマが大きく、予定よりも時間がかかったが、生徒は興味を持って意欲的に取り組むことができ、初年度としては上々である。	A	
		②ICT機材を活用した指導教材の開発【科学探究科】		
11 科学探究科	(1)科学探究科指導の工夫・研究	②ICT機材を活用した指導教材の開発【科学探究科】	B	愛校心を育てたい。また、環境が整っていると生活に緊張感が生まれて良い。1年次に清掃指導を徹底させ、さらに生徒の新たな発見に清掃を役立てたい。
		【学校説明】理科の授業では数回活用した。主に、学校設定科目での利用に主眼を置いたので、これに関しては、かなり活用できた。	B	
		③理数科目における少人数指導の工夫【科学探究科】		
11 科学探究科	(1)科学探究科指導の工夫・研究	③理数科目における少人数指導の工夫【科学探究科】	B	これからますます省エネの必要性は増えることが考えられる。自主的に消灯等を行うようにしたい。節約出来た金額が何に反映されたかも知りたい。
		【学校説明】理数科目においては、クラスを半分に分け実施した。普段より手厚い指導ができた。	B	
		④グループ学習、コラボレーション学習、プロジェクト学習の導入【科学探究科】		
11 科学探究科	(1)科学探究科指導の工夫・研究	④グループ学習、コラボレーション学習、プロジェクト学習の導入【科学探究科】	A	「探究プログラム」は、生徒が意欲的に取り組んでいた。自ら取り組むことが、楽しく感じられるような指導を続けてほしい。
		【学校説明】学校設定科目や総合的な学習においては、かなり意図した学習ができたので、引き続き継続していきたい。	A	
		③理数科目における少人数指導の工夫【科学探究科】		
11 科学探究科	(1)科学探究科指導の工夫・研究	③理数科目における少人数指導の工夫【科学探究科】	B	さらにICT機器の活用を高めたい。活用した授業の効果を検証し、効果的な利用をさらに進めたい。
		【学校説明】理科の授業では数回活用した。主に、学校設定科目での利用に主眼を置いたので、これに関しては、かなり活用できた。	B	
		④グループ学習、コラボレーション学習、プロジェクト学習の導入【科学探究科】		
11 科学探究科	(1)科学探究科指導の工夫・研究	④グループ学習、コラボレーション学習、プロジェクト学習の導入【科学探究科】	A	少人数であれば、指導や充実させることが出来る。個に対応した指導が更に進むように期待したい。難関大学への科学探究科からの合格を期待します。
		【学校説明】学校設定科目や総合的な学習においては、かなり意図した学習ができたので、引き続き継続していきたい。	A	
		③理数科目における少人数指導の工夫【科学探究科】		
11 科学探究科	(1)科学探究科指導の工夫・研究	③理数科目における少人数指導の工夫【科学探究科】	B	学習形態を工夫し、CDプラン等での貴重な体験を活かし、主体的に進路を選択してほしい。科学探究科での工夫した指導を普通科にも活かせるような活性化を臨む。
		【学校説明】理科の授業では数回活用した。主に、学校設定科目での利用に主眼を置いたので、これに関しては、かなり活用できた。	B	
		④グループ学習、コラボレーション学習、プロジェクト学習の導入【科学探究科】		
学校から 経営のまとめ(成果と課題)				学校関係者評価委員会まとめ
<p>・平成23年度の本校の取り組みについて、委員の皆様から、貴重な意見やアドバイス、理解ある評価をいただいた。</p> <p>・本校では、学力の保障を第一と位置づけ、授業公開や授業評価アンケート、ICTの活用などを通して魅力ある授業づくりを目標として教育活動に励んできた。次年度以降も、確かな学力の育成を目指し、授業改善を図っていく。</p>				<p>進学率の上昇等進学校としての取り組み等が確立されてきている。生徒自身も社会の一員であることを自覚さ</p>

・今年度は、科学探究科を開設して特色ある理数教育を行ってきた。普通科の活動も含め、ホームページ等を通して生徒の活動状況を積極的に発信し、多くの中学生や保護者、学校関係者に科学探究科の理解を深めてもらいたい。  
・今後も、文武両道を目指し、社会に貢献できる、調和のとれた、創造的な生徒を育成するよう努めていきたい。

せ、社会の変化や地域の実態を踏まえて、さらに「魅力ある学習の場」となることを願う。